科目ナンバリング	U-LAS00 20013 SJ34						
授業科目名<英訳>	西洋思想史基礎ゼミナール Introductory Seminar on the History of Western Thought			担当者所属職名・氏名	人間・環境学研究科 教授　安部　浩		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	哲学・思想(各論)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	金3	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

西洋哲学における古典中の古典を取り上げ、その講読を通して西洋思想史上の基礎的な問題の所在を確認し、同時に又それらの諸問題に関して参加者全員で討議すること。これが本ゼミナールの狙いである。

本ゼミナールを通して受講生諸君は、正確な語学の知識、テキストを精緻に読解する能力と論理的思考力、相手の言うことを理解した上で自分の考えるところを相手にも理解して貰えるように表現する能力等を涵養しうるであろう。

[到達目標]

正確な語学の知識、テキストを精緻に読解する能力と論理的思考力、相手の言うことを理解した上で自分の考えるところを相手にも理解して貰えるように表現する能力等を涵養する。

[授業計画と内容]

カントの『純粋理性批判』を取り上げる。どこからどこまでを読むか、各回にどこを扱うかについては、初回の授業にて受講希望者の皆さんと御相談の上で委細決定する為、ここでは次のように示すことしかできない。

1. ガイダンス
2.~14. 『純粋理性批判』の訳読・解説・討論
15. フィードバック（詳細については後日説明）

テキストは、基本的には英訳（こちらでプリントを用意する）を用いるが、原典（ドイツ語）も適宜参照することにする。

[履修要件]

後期（西洋思想史基礎ゼミナール）を受講するためには、前期（ILASセミナー：西洋思想史）を修得しておくことが望ましいが、後期からの受講者も歓迎する。

[成績評価の方法・観点]

平常点（訳読とゼミナールでの発言）と定期試験による。 評価の割合は八対二。

[教科書]

プリントを用意する。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

所定の文献を予習して精読し、復習してよく理解する。

[その他（オフィスアワー等）]

履修希望者が多い場合は、受講者を制限するときもある。

[主要授業科目（学部・学科名）]

総合人間学部